

10月度議員懇談会

サイバーバレー構想について懇談



10月度議員懇談会を10月1日11時より福井商工会議所ビルにて開催し、60名が参加した。

開会にあたり八木会頭から挨拶が行われた。初めに、9月21日に石川県能登半島を中心に起きた豪雨災害について触れた。今年の元日に起きた震災からの復興途中で発生したさらなる自然災害に対し、やりきれない思いを示すとともに、同じ北陸地域の仲間として寄り添ったサポートをしていきたいと表明した。

続いて、9月21日に開催した第3回目となる会員交流eスポーツ大会について述べた。当日は26社から124名が参加し、大いに盛り上がったことを振り返った。競技種目の一つで、今年からの新種目「スピリットオーバーフ



開会の挨拶を行う八木会頭

ロー」（自転車を使った陣取りゲーム）では、暁産業(株)と株ALLCONNECTの合同チームが優勝。これに関し、「合同チームでの出場や活躍は、大会の理想とする企業間の連携、交流の表れだ」と所感を述べ、今後の開催にも意気込みを見せた。

また、9月30日には富山県で北陸、関西地域の7商工会議所で構成される北陸・関西連携会議に出席。話題の中心は北陸新幹線の延伸であり、会合では小浜・京都ルートでの延伸に向けて決議を行ったことを紹介した。今年は東海道新幹線が事故や天候の要因で運休が頻発したことを振り返り、北陸新幹線の代替機能の重要性を改めて実感したとし、小浜・京都ルートでの延伸の必要性に対する周囲の理解を深めながら、早期延伸に向けて取り組んでいきたいと決意を述べた。

続いて卓話に移り、コネクティブフリー(株)の帝都久利寿氏より「サイバーバレー構想について」と題して卓話が行われた。

帝都氏の生い立ちやこれまでの活動、実績や同社が提供し安心安全なインターネット環境を低コストで実現する「Internet3」の紹介が行われた。



卓話を行う帝都氏

また、帝都氏が目指す福井を日本のシリコンバレー化するサイバーバレー構想について説明が行われた。福井はアメリカ西海岸に土地の雰囲気似ている他、多くのNO1があることに加え、東京の一極集中を是正し、金融や政治が動く福井へと変革を起こしたいという考え方を述べ、その構想への協力を呼び掛けた。

その後、10月17日、18日の2日間福井県産業会館で開催する北陸技術交流テクノフェアについて、塚本明実行委員長より説明が行われた。開催概要や特別企画展、記念講演の内容について紹介。塚本委員長は、北陸新幹線開業を機に福井が新たなマーケットと捉えられているとし、展示会を通じ新たな技術交流などへの期待を語った。